

# ふれあい 15号

平成28年4月19日発行



シニアユニバーシティ北浦和校

8期校友会

# 28年度に向けて

会長 藏重 修二

27年度も早終盤にかかってしまいました。27年度は、2月に行われる連合会の恒例事業の芸能発表会も連合会全体の校友会の数が増え全校友会が参加しての発表を一日で行うことができなくなり、今年度は北浦和校協議会から4校友会が参加することになり、古い方になる我々8期校友会は参加しなくて良いことになりました。そんなわけで、いつもは芸能発表会の練習で、班の活動と違う仲間と知り合う機会にもなり今の時期は忙しくしておりましたが、今年は8期校友会としての行事も終わり、後は来年度に向けての準備だけになりました。

来年度は、昨年実施したアンケートの結果から班を維持したいとの要望が多いことの半面、校友会ができて8年余り経過したが、会員同士がまだ充分知り合っていないことをふまえ、12ある班を残したまま4つのブロックに分ける（例えば1~3班で一つのブロック、4~6班で一つのブロック、7~9班で一つのブロック、10~12班で一つのブロック。各ブロックは18~20人となる）組織変更を行う予定です。これによって、班の活動だけでなくブロック毎の活動も行って今までと違った仲間づくりをしていただきたいと思います。各ブロックには、年間行事を分担して担当していただきたいと思います。

その他の組織変更としては、今まで総務部、企画部、広報部の3部制でしたが、アンケートの結果広報誌はいままで年2~3回発行していましたが、年1回の発行になり業務が減ることから、広報部を総務部に統合し（総務担当と広報担当を置く）、企画部の2部制にすることにします。

また、全体の人数が27年度は76名と8期校友会発足当時の約半分になりましたが、校友会の理事の数は29名とほぼ変わっていません。ブロック制にすることによって、各ブロックから理事を二人出していただき全体の理事数を14~15人にする予定です。

また、他の校友会との交流を図るため、同じクラブの行事の共同開催も行いたいと思っています。  
(平成28年1月末 藏重記)

## 『あらかわ の “あ” 』

12班 平岩 敏男

埼玉メディカルセンターの一室で、「お元気倶楽部」という体操が行われている。対象は「高齢者で、自力で来れる者」となっており、この介護予防教室はジェイコー埼玉が行っている愛称「お元気倶楽部」で、北協全期担当（1か月交代）で27年度より支援活動を行うことになり、8期は7月・2月が担当で、7月の3回に参加する機会がありました。

体操の参加者は1部・2部の入れ替えあり、2回で50名ほどで、毎回満席となる状況でした。

我々の支援活動は朝の会場設定、参加者の確認、体操中の監視などの後方支援が主体です。

参加者の中には常連の人が多く、椅子を利用したこの体操は自分に合わせそれぞれの形で体操をする人、体操のビデオ操作に詳しい人と、いろいろと元気な人も多く、体操は当然マスター、これが結構長くビデオを見ずに、『あらかわ の “あ”』と足を浮かせ文字を書く姿、スイスイと体操をする姿に、感心するばかりでした。

後半の組は体操が終わった後はコーラスの練習が控えており、コーラスへの参加する人も多く、慣れた手つき、行動で会場造りの手早い事にまた感心。

この様な一連の行動に出会って思うことは、ただただ「外に出ること」「体を動かすこと」が大事な事だと再認識しました。



私は熊谷女子高を卒業後、丸の内の三菱地所に入社いたしました。

当時丸ビルではエレベーターは大学生が運転しておりました。

親しい大学生と映画を見たり、山へ行ったり楽しい毎日でした。丸の内内で有名店、知名人が訪れ、お食事、ショッピング等すべて得られてとても満足でした。そして、丸ビル列車が毎年貸切で、楽しい家族的なツアーが行われました。他に季節ごとにいろいろなイベントもありました。



社会人としてスタートし多くの方達と交流も得られ、夢膨らむとても楽しい毎日でした。

現在は丸ビルも様変わりし、丸ビル界限もすっかり変わりましたが、私は昔の丸ビルが大好きでした。家族的な温かい人たちとの交わりでした。

そして、日本も経済成長に向かい、これからは商社が花形ということで、英文タイプを取得して、六年間の大好きな丸ビル生活を去り、日本橋の商社に入社しました。

その後、定年まで貿易の仕事に専念いたしました。

## 「カラオケ」に寄せて

10班 安澤泰三

昭和36年に社会人となり、会社の勤務地は日本橋堀留にあり、最寄りの駅は、国鉄時代の旧神田駅でした。会社まで徒歩20分一本道を“丁稚街道”と思い込みひたすら真面目に休むことなく勤務しました。

企業も高度成長期に入り、景気は上向き、世は正に‘為せば成る時代’で、プライベートな時間を十分満喫出来ました。旧神田駅界限は気楽に飲み食いが出来る店、飲み屋さん、バー、スナックがあり、経済、世評、アパレル情報を交換したり、時には歌ったり騒いだり、気楽な居場所でもありました。

“トリスを飲んでハワイへ行こう”のPR全盛時代で、当時カラオケ設備はなく、唯歌うだけでワイワイ、ガヤガヤ楽しく騒ぎました。

今日の“カラオケ”の原点は、私的な見解ですが、旧神田駅界限にあったと思います。JRガード下にも多数の店があり、アルバイト風の小奇麗なママが日頃の疲れを癒してくれました。

現在“カラオケ”は我シニア大学の仲間たちと、男性も女性も交えて、懐かしのメロデー、時には新曲を披露し、楽しく歌い語り合っています。

“老いてこそ人生” 健康な身体、健全な精神を持ち続けたいものです。“カラオケ”を通じて古き良き時代、わが青春を思い起こしながら、皆さんと歌い、語り、楽しく御一緒したいと“カラオケ”に参加して下さい。

<ご連絡待ってます>



## 9班活動

### ① 9班食事会

昨年、12月11日に9班の食事会をさいたま新都心近くのラフレにある秋ヶ瀬で行った。昨年4月、奥様の世話をを行う事情で8期をやむをえず退会された宮畑さんを変え9班のメンバー6人としばし楽しい会話を楽しんだ。



### ② 相続の講演を聞いて

今年の1月1日から相続税法が変わると言う報道が流れていたこともあり、どう変わるのか関心があった。今回の講演は、相続について具体的な内容を聞くことができたことと、相続に対する対処法を聞くことができ非常に参考になった。今まで、自分の相続財産について考えたこともなかったので、この機会に一度まとめてみて、家内をはじめ子供たちにも現実を話しておこうと思った。(蔵重記)

## 芋煮会に参加して

8班 鈴木 順子

10月の秋晴れの1日秋ヶ瀬公園にて開かれた芋煮会は大変楽しい1日でした。

前に開催されたバーベキューとは違いテレビ等で地元の方々が、何度も参加すると放送されていたので芋煮とはどんな物かという興味もあり参加する事にしました。何となく行き掛かり上前日の買い物までかって出ましたが、これもストレス解消になりました。30名以上の参加者分の品物を買うので山盛りのカゴを何度も蔵重さんが車に運ぶ事になりました。



本間さんが売り場の下調べをしておいてくれたので、2時間程でスムーズに終わりました。

初めて食べた芋煮は里芋が大変美味しく、飲んで食べて大満足でした。

全員でやれば後片付けもあっという間でした。

色々な準備等役員の方々本当にお世話様でした。



# 7班で～す。

平成 27 年度の 7 班の活動報告です。

班活動は、夏の暑気払い、正月の新年会、春または秋の温泉旅行を主な活動にしています。

女性会員は、全員 8 期のクラブ活動を楽しみ、個人的なサークルにも参加して生き生きしています。男性会員は、温泉旅行と飲み会だけが楽しみで全くだらしないです。班長は、理事会への出席とその連絡係を使命に会員を継続しています。

以下の写真は、5 月に行った鬼怒川旅行でのスナップです。

往復東武鉄道の鈍行を利用し、初日は鬼怒川溪谷を、二日目はワールドスクエアをのんびり見学してきました。

(新井記)



## ごはん食べ歩く記

### パートⅦ

「五班」ごはん 岡本 功

5 班食事会は平成 22 年 5 月 11 日（火）に、ふれあい館近くの“おにくの会席”店「二木屋」で第 1 回をスタートし、今回 34 回目の食事会は 28 年 1 月 19 日コンナレでのコンサート後の開催と成りました。会場は全員（5 名）浦和駅に集合して、何処が良いかと話し合った末にコンナレに戻って店舗を探した結果、以前何度も行った事の有る食堂「いろはにほへと」に入店しました。食事は全員そろって各自好みの食べ物を注文しました。ところがみんな和やかに食べ始めて話合った処、最近の食事会は、本人や配偶者の不都合が発生し参加者も少ない状況が続くように成って居ます。只食事会を開始した時点で、食事を楽しく食べると同時に皆さんの【健康確認を話会いましょう！】と云う主旨で食事会をスタートの為、一人一人現状の健康状態を語りながらリハビリ総体やストレッチ体操の話題が多く成る様に成って来ました。そしてその様な操作を日常生活に対応し効果が発生する様にして行きましょうとの会話が、多くなりつつ有り、健康維持をしましょうとの会話が多くなって居ます。食事をしながら加齢に因る体調不良を改善する食事会を楽しく継続しましょう、と 19 日を終了し、次回は 3 月 15 日に集まりましょうと決めて散会しました



# 国立劇場「神霊矢口渡」を鑑賞して

6班 鈴木記



「神霊矢口渡」は軍記物語「太平記」に題材をとった、江戸期の戯作者福内鬼外こと平賀源内が創作した浄瑠璃作品である。

舞台となる「矢口の渡し」は現在の東京都大田区矢口の多摩川下流の六郷川に架かる大橋付近にあった渡船場のことで、今から 650 年以前の南北朝時代の武将、新田義貞の次男義興が足利方の謀略によって川中で自刃に追い込まれたことに由来する。

原作は五段の作品であるが今回は三段目「東海道焼餅坂の場」以下四幕で構成されている。

その粗筋は新田氏没落後、義興の妻・筑波御前と兵庫之助の妻・湊、そして義興の子・徳寿丸と彼を守る重臣・南瀬六郎は、東海道焼餅坂での危難を経て兵庫之助の屋敷に辿り着きます。すると兵庫之助は六郎の命を奪い、徳寿丸の首を打って足利方に差し出してしまいます。

狂乱する筑波御前と湊に兵庫之助が対面させたのは本物の徳寿丸で、身替りとなったのはわが子・友千代であった。

一方、義興の弟・義岑は遊女・うてなと共に、義興の旗持ちだった生麦村の堂守・道念に匿まれ、義興の形見の旗を渡されます。そこに詮議の手が迫ったため、二人は船頭・頓兵衛の家に舟を求めます。しかし、旗の紋から義岑が新田の落人と判明。頓兵衛の娘・お舟は恋する義岑を逃がし、身替りとなって父に刺されます。

水路、義岑を追う頓兵衛が、かつて義興を謀殺した川中にかかると無念の死に至った義興の怨霊が現れ、神矢を放って頓兵衛の命を絶ちます。

その後も義興の怨念は雷となって鎌倉・六波羅を脅かしたため、足利方は恐怖し、霊を鎮めるため神社を建立します。今日、度々の水路の変更により場所を変えているが大田区矢口 1-21-23 に所在する新田神社がそれである。

開幕を知らせる拍子木の音・華やかな舞台衣装などは歌舞伎の世界の美しさ・楽しさを満喫させてくれました。

## ボーリング大会に参加して

6班 安達 克洋

10月27日、浦和スプリングレーンズの8期大会に参加。最近ボーリングブームが静かに再来してきていると聞いていたが、平日の午前にもかかわらず7～8割がたレーンが埋まっていて、その中心は高齢者である。私も約50年前のブームの時、結構熱中したので、長いブランクはあるもの



の、そこそこの点数が出ると思い大会に臨んだが、あにはからんや、イメージ通り投げられたのは2～3投で、今度こそ、今度こそと思いながら、あっという間に2ゲームが終了した。結果は思うようにでなかったが、参加された皆さんの元気でハツラツとした投球に大いに誘発され、昼食懇親会（反省会？）も含めて笑いと悔しさが入り交じる楽しい一日でした。

## 4 班活動

原田 国子



4 班は、班員は 6 人居ますが、体調を崩している人が居たり、忙しかったりと中々班活動は出来ず、史跡の時に班活動も込めて参加して居る様な状態です。

今回は、久しぶりに平林寺に行って来ました。やはり全員で行く事は出来ませんでした。紅葉がとても綺麗で感激して来ました。と言うのも、鈴木明重さんが 6 年前から仏像を作って居られ、何時か見たいと思って居ましたが、今回平林寺の前にある「睡足軒の森・紅葉亭」で仏像の展示会が有るからと誘ってくださったので、鈴木さんの車で連れて行って貰いました。

一体作り上げるのに 1 年以上掛かるそうですが、とても丁寧に細かい彫刻で、これは大変だろうと感心しました。写真を撮ってきましたので、皆さんにも見て頂きたいと載せました。

「阿弥陀如来像」と「不動妙王」です。他にもお仲間の作品が沢山飾って有り、それぞれ皆さんの力作。趣味と言っても本当に大変な努力と苦勞をして作られて居る事と思いました。



平林寺の紅葉では、私達 4 班には寂しい思い出が有ります。7～8 年前でしょうか史跡巡りで 4 班の人達も全員で参加、紅葉を楽しんで来ました。その翌日、天後さんが倒れられ亡くなってしまいました。「前の日にあんなに御元気で皆さんと楽しんだのに」と、ショックを受け、“この歳になったら何時何が起きるか分からない”と実感しました。紅葉を見ながら皆で「そうだったね。ここで写真撮ったね。」なんてしみりしてしまいましたが 気分を変えて 美味しいお蕎麦を食べ帰って来ました。

## 第 1 回さいたま国際マラソン大会のボランティア参加して

第 1 回さいたま国際マラソン大会が平成 27 年 11 月 15 日開催され、私達 8 期校友会はボランティア活動に参加しましたが 8 期は 6 名の参加でちょっと寂しかったですが、沿道には地域の方達が大勢で大声を挙げて応援していました。私も皆さんに負けずに応援しました。

朝雨の中、浦和パルコの前広場に集合し、各警備箇所までバスで移動し大会担当者から本日のボランティア活動について説明を受け後、沿道整理の準備に掛かりました。スタートする頃には小雨になり、私達の所は、15 キロ地点で、走者の姿を見るまでは雨の中を走って来るので、どうなるのかなと思っておりましたら元気いっぱい走って来るランナーの姿を見て本当に感動しました。

このボランティア活動に参加して私達シニアにもお役に立つことある事が判りましたので、今後の活動に活かしたいと思えます。

S/M 記

# 平成27年度 3班活動報告

- ・平成27年5月25日 与野駅東口近くのレストランにて会食。参加者6名。
- ・平成27年8月25日 史跡クラブの下見を兼ねて難波田公園と水子貝塚公園の散策。帰途、志木駅東口の中華レストランにて会食。参加者4名。
- ・平成27年11月10日 全体集会と講演会終了後、浦和駅西口のイタリアンレストランにて会食。参加者4名。

## 2 班 の 集 い

1月20日、久しぶりに2班の全員が集まりました。メンバー6人が揃ったのは、昨年の総会後に開かれた懇親会以来でしたが、何故かそんな長い空白があった様な気がしませんでした。

昨年5月田中さんが体調を崩され、5か月の入院後自宅でリハビリに努められていましたが、秋ごろから大分元気になられた様だとの話が伝わってきました。

電話の声が前の様に元気だったとか、メンバー夫々に頂いた手紙がビッシリ書かれてあったとか、なんと2万歩も歩かれたそうだと等々、こうした話から年末みんなで相談し年が明けたら「快気祝い」を兼ねて皆で食事をしようと言う事になりました。

当日は、ご主人と田中さんの仲良し村田さんにも参加して頂き、8人での食事会となりました。新都心駅のコンコースをご主人と歩いて来られる田中さんを見つけた時、みんな思わず声を上げ喜びの再会となりました。

実は残りの5人も昨年は、血圧の不調・交通事故による打撲・転倒による骨折・説明すると長くなる打撲などで、全員が集まれることは殆どなく、元気に集まれることが凄く嬉しかったのだと思います。



ラフレの「秋ヶ瀬」に入ってから、以前と変わらぬ田中さんを中心に話が弾みました。

体の不調に気付かれた瞬間とご主人の対応・病院での生活・退院後のリハビリ、又他のメンバーの事故の話なども加わり話は尽きませんでしたが、何よりも回復に向けての田中さんの意志の強さを感じた一日でした。又新たな出会いが始まった様な気がします。

2班一同



(左)  
さいたま国際マラソン  
ボランティア参加

(右)  
北協演芸大会  
演目

「とんち教室」で参加





現在は男性3名、女性4名の計7名でのスタートです。早いもので8年がたち、気心も知れてきてこの一年の全体集会は常時5～6名が顔をそろえています。自然体で話ができるよい雰囲気です。活動報告 ・活動主体は全体集会後の食事会

連絡事項の確認、提出物の配布、回収、各人の近況を伝えあったりして楽しみな時を過ごしました。席はまとまっています

### ・6/2 班計画のバスツアー 東京ミニ見物

はとバスのオープンバスで東京駅から官庁街、東京タワーの直下を通りレインボーブリッジ、豊洲の魚市場を横目に歌舞伎座前を通り1時間の東京見物をしました。梅雨時で雨が心配でしたがビニールカップを着ることもなく終了。ちょっと普段と違い、目線が少し上がっただけで見慣れた景色が新鮮でした。昼食は小岩井農場レストランで、また郵政ビル屋上から東京駅ホームを一望、改めてプラットフォームの広さや長さを興味深くながめました。この日の参加者は6名でした。



- ・11/9 吉武さんのコンサート後の昼食会、ちょっと早めの忘年会を兼ねました。 “魚菜基” 和食店です。この日も6名。
- ・その他7/21 落語会。9/2 市民会館健康講座。10/20 芋煮会など5～6名の参加がありました。

### ・12/1 8期バス旅行 養老溪谷

なんと出席率100%!! 全員参加でした。お天気にも恵まれ、ほぼ予定通りで楽しい一日を過ごしました。目(溪谷美)足(お寺詣りの階段20分)頭、口(おしゃべり)も大活躍でした。

8年間で培われた連帯感や親近感、班長さんの努力とご苦労、班のメンバーの協力で今の班は築き上げられてきました。班のあり方が色々問題になっている今、年齢や心情を全部考慮しての運営方法は難しいでしょう。“はて どのようにすれば最善なのでしょうか?” 英知を出し合っただければと思います……。

## 「セピア色の夢」

1班 大塚 隆一

ラジオを聴いていたら「食器と食器がぶつかり、どちらかが割れてしまう。どちらかが柔らかければ割れないのに〜〜〜」と話していた。スポーツを除けば、国家間の関係や家庭生活に於いて、ぶつかり合うことで、良い結果を招かない出来事や事件が多く発生している。この話を聴いた時、自身の自戒を込めた教訓にしていきたいと思った。

私的には、昨年11月に喜寿になり、しばしば見る夢に会社勤めの頃の、思い出が「走馬燈」のように浮かんでくる。この夢は、会社員時代の”規則”や”人間関係のしがらみ”等の束縛された思い出や出来事を消去した楽しい事が多い。何故だろうか考えると、会社勤めの頃を「原色」に例えるならば、高齢化に伴って徐々に無難な「セピア色」に変化し、昔の記憶を美化して”安寧”を望む気持ちが、強くなって夢に現れるのではないだろうか。

勤めを67歳で終え、69歳でシニア大学に入り新しい仲間と出会い、新鮮で”ほど良い距離間”のある人間関係と、リラックスした活動に、安らぎを覚えながら心地よく過ごしているうちに、早くも8年経った。これからは衰えつつある”体調と気力”と相談しながら、もう少し「校友会・クラブ活動」を続けたいと思っている。



# 花散策クラブ・活動報告

平成28年1月 藏重美佐子

平成20年(2008年)の発足以来通し番号で案内をしてきた花散策も、昨年11月で56回を行うことが出来ました。当初3年程は役員主導で散策地を案内していましたが、以降は輪番制で行っています。花散策は、花の開花に合わせるため、季節と開花時期に左右されるため、事前の情報収集が欠かせません。数年前の大宮公園の梅の開花が遅れ中止の後、昨年念願を果たしたところもありましたが、まずまず恵まれた花時に出会え、皆の心がけ〜と喜んでおります。メンバーは18名。下記のように平成27年の活動を報告いたします。

## 1. 散策活動 (平成27年4月・52回より)

**第52回** 4月28日(火) 京王百草園「春の花」: 16名  
急坂を登り切った園からの見晴しもよく、牡丹や藤も見事に咲いていました。晴天に恵まれ、さわやかな風の通る庵での休憩・ランチも思い出に残りました。



**第53回** 5月21日(木) 皇居・吹上御苑散策: 13名  
宮内庁の事前許可を得て、めったに入れない御苑を案内人のもと散策しました。

**第54回** 6月9日(火) 白山神社の「紫陽花」: 9名  
見頃の紫陽花散策の後、近くの小石川植物園にも足を延ばしました。

**第55回** 10月7日(水) 伊奈町の「秋の花々」: 16名  
(感想) 1000坪の自然林の庭に四季折々の草花樹木が生い茂り、山野草の小道を花々を見ながら歩くと、ギャラリー&カフェ「寧(ねい)」という洒落た店がありました。ギャラリーでは藍染や革製品の展示、また手作り陶器の展示即売もあり目の保養もでき、ケーキ付手作りランチを味わいました。その後、伊奈総合記念公園まで足を延ばし、美しい秋バラの鑑賞もでき、好天に恵まれて初秋を味わえた一日でした。(Y・S)

**第56回** 11月25日(木) 水元公園「紅葉と化粧品工場見学」: 6名  
雨天でしたが見学の予約もあり決行。ハイム化粧品という生協などで扱う化粧品の製造過程に興味深く見学。水元公園は今後に送ることにしました。

## 2. 総会・新年会

- 1月29日(金) 秋ヶ瀬庵にて: 14名
- ・28度は、年6回を5回に。
  - 4月・5月・6月
  - 秋(9~12月)・
  - 冬(1~3月)



## 3. 今後の活動予定

**第57回** 3月18日(金)  
牧野記念庭園散(大泉学園)「ヒロハアマナ鑑賞」

今、静かなブームになっている健康吹き矢ですが、私達クラブも発足以来5年を過ぎようとしています。しかし個人個人の成績はなかなか思うようには伸びません。呼吸法は胸式と腹式の両方を行うので、呼吸に関する筋肉をすべて活用、この為ストレス解消、高血圧の予防、喘息の改善等に素晴らしい効果をもたらします。さらに健康効果以上に素晴らしいのは部員同士のコミュニケーションです。毎年、ボウリング大会や日帰り旅行等を行っています。今年は4月に熊谷の妻沼聖天山に行ってきた。聖天堂は国宝で日光東照宮に似た本格的装飾建築物との事で素晴らしい建物でした。私達のクラブは会場確保大変な中、月3回～4回鈴谷公民館や常盤公民館等で練習を行っており、2ヶ月毎に技術顧問から個人成績の発表があります。その成績に一喜一憂しながら楽しく練習に励んでおります。



会員の皆様も見学にいらして、是非このわくわく感を体験してみませんか!!

## 絵手紙クラブ

私は絵手紙を始めて、やわらかな心を持つ熊本県生まれの坂村真民さんの詩と出会い、生き方のヒントや心に響く言葉を沢山知りました。ここに真民（しんみん）さんの詩で特に好きな「本気」をご紹介します。

3月の活動で描いた、坂村真民さんの詩をモチーフにした絵手紙です。

### 「本気」

本気になると

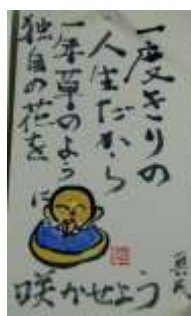
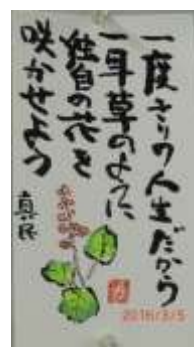
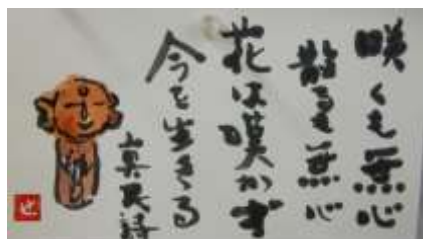
世界が変わってくる  
自分が変わってくる  
変わってこなかったら  
まだ本気になっていない証拠だ

本気な恋

本気な仕事

ああ 人間一度  
こいつをつかまんことには

優しさと厳しさの入り混じったこの詩を座右の銘とし、何事にも本気で取り組みたいと思っています。



絵手紙クラブの作品はHPに掲載しています。

現在部員5名です。会員募集中です。ぜひご参加を・・・

# ホームページ(HP)閲覧の仕方

広報誌の発行が今後年一回になります。会員の皆様へのタイムリーな情報発信源として、校友会ホームページ [HP] の閲覧をお願いします。



- ★ スマートホン・タブレット・パソコンなどで閲覧できます。  
上記機器を持っていない方は、市民活動センター（パルコ9階）パソコンコーナー・図書館などで、閲覧できます。
- ★ 閲覧方法が不明な方には、今後、閲覧講習会などを企画したいと思いますので、グループ理事を通して、総務広報担当にお申出下さい。
- ★ 活動予定の閲覧  
（連合会・北浦和協議会・北浦和協議会他期・他協議会）
- ★ **8期校友会・クラブ活動、予定・活動報告**

## 編集後記

冒頭の蔵重会長の記事にもありますように、2016年度より校友会の組織変更があります。

広報部で実施しました広報誌に関するアンケートの結果、広報誌「ふれあい」の発行は年1回となります。理由は、会員の皆様に記事をお願いするのは、班長さんに大変なご苦勞をおかけすると同時に、会員の皆様への負担も大きいと言う声が多く聞かれました。

また、会員の皆様の投稿による、参考になる記事もあり、ぜひ続けて頂きたいという声も聞かれましたが、広報部に所属する会員の負担も大きく、今後は会員方の記事も、自主的に投稿されれば掲載したいと考えています。

8期も9年目を迎え、班の方以外の会員の皆様のお顔が見えるような校友会にしていきたいとの会長のお考えもありますので、今後はグループの活動も含めた会員間の交流を充実していければと考えます。

広報部は、総務の中に広報担当として組み込まれ、活動していくことになりました。

今までのご協力に感謝いたしますとともに、今後の校友会活動のご協力・ご支援をよろしく願います。

広報部 藤枝

広報担当 茂田井 和子 白瀧 紀子 藤枝 一子  
八頭司 敦子 内田 和子